「円高馬券」枠連1-8、馬連1-8、馬単8-1、単・複18番で勝負！

前回のスプリンターズSは、香港馬2頭のワンツー馬券のすべてを買ったが、間が差して単・複を買射忘れたので、ウルトラファンタジーが勝ったのにもかかわらず外してしまった。本当に間抜けだ。

香港馬を買ったのは、尖閣問題の外交で日本が中国に完敗したからで、香港も中国であることには変わりないからだ。その香港に先週行ってきたが、不況の東京とうって変わって街は活況を呈していた。

時事問題絡みで馬券を買うのはこれまで何度もやってきたが、思い出してみると、そういうときはたいて予想が面倒なときだ。傑出馬がいない混戦のときは、とくにそう。「どれが勝つかわからないのだから、なんでもいいや」という気分のときが多い。
今回の秋華賞も有力馬が多すぎて、考えるのが面倒くさい。

トライアルのローズSを勝ったアニメイトバイオは確かに強かった。しかし、負けたアパパネも悲観する内容ではないし、3着のエイシンリターズも照準は初めから秋華賞のように思え、ここで負けた有力馬はみな巻き返しがあるように思う。
また、オークスから直行のサンテミリオンもきちんと仕上げてきているから、やはり混戦だ。それに有力馬はみな差してくるだろうし、典型的な逃げ馬もいない。アグネスワルツが逃げ

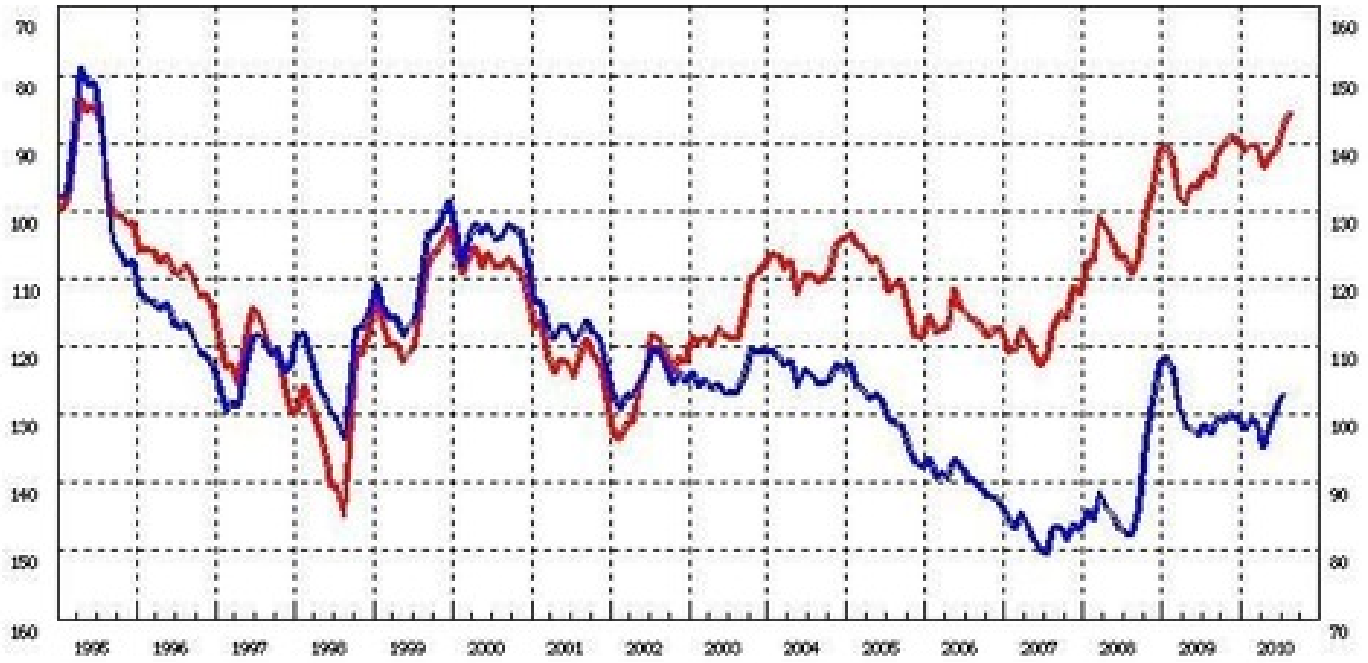
るだろうが、武豊のアプリコットフィズが逃げる可能性だってある。すると、逃げ切りも考えられる。

　というわけで、またまた時事馬券になるが、今週の話題といえばなんといっても、「チリ、サンホセ鉱山、33人奇跡の生還」だろう。この時事ネタで人気になっているのが、エーシンリターンズだ。帰ってきた（リターン）33人からの連想だが、なんと騎手の福永は33歳である。
　もう1頭は、サンホセ鉱山の地名から「サン」がつくサンテミリオンだが、これもなんと３枠に入った。
　それで、この2頭の馬単、馬連を中心に勝負し、さらに枠連3-３を買えば、今週の時事馬券は完成する。

ただ、私が気になるのは、南半球チリの出来事より、昨日、ついに80円まで進んだ円高だ。この22、23日には20カ国・地域（G20）の財務相・中央銀行総裁会議が韓国で開かれるので、そこまではこの水準が続きそうだ。

そこで、今日の円ドル相場だが、15日午前のロンドン外国為替市場は、午前９時半現在、前日終値に比べ25銭円高・ドル安の１ドル＝81円10～20銭で推移している。

名目為替レート（ドル/円
左目盛）と実質実効為替レート（2005年＝100 右目盛）



現在の円高は、インフレ率などを勘案した実質実効レートでみると、ここ15年の平均程度にすぎない。だから、今後もこの状態が続くという見方もあるが、私はそうは思わない。日本の

財政赤字は1000兆円規模に達しており、じきに国債消化ができなくなれば、金利上昇が起こる。そうなると、悪性インフレに突入し、円は暴落しかねない。つまり、現在の日本経済の実情を反映していない円高は、ここがピークと考えている。

　よって、秋華賞の馬券は、枠連で1-8。当日までに82円台になるかもしれないので、2-8も追加しておく。また、馬連の1-8、2-8ももちろん買うが、万が一79円台に突入もありえるとして7-9も抑えたい。あと、単・複の18番も抑えておきたい
　さらに、馬単の8-1、8-2、7-9も買っておきたい。ただ、これだと80円台が抜けてしまうので、0を10に置き換えて、馬連と馬単の8-10も買うべきだろう。これで歴史的な「円高馬券」の完成だ。

第15回秋華賞(3歳牝、GI・芝2000m)

1-1 レディアルバローザ(牝3、幸英明、栗・池江泰郎)
1-2 ベストクルーズ(牝3、三浦皇成、栗・松田博資)
2-3 ショウリュウムーン(牝3、四位洋文、栗・佐々木晶三)
2-4 アプリコットフィズ(牝3、武豊、美・小島太)
3-5 サンテミリオン(牝3、藤岡佑介、美・古賀慎明)
3-6 コスモネモシン(牝3、和田竜二、美・清水英克)
4-7 レインボーダリア(牝3、秋山真一郎、美・二ノ宮敬宇)
4-8 オウケンサクラ(牝3、内田博幸、栗・音無秀孝)
5-9 アグネスワルツ(牝3、柴田善臣、栗・宮本博)
5-10 アニメイトバイオ(牝3、後藤浩輝、美・牧光二)
6-11 エーシンリターンズ(牝3、福永祐一、栗・坂口正則)
6-12 アンティフリーズ(牝3、松岡正海、栗・坂口正則)

7-13 ディアアレトゥーサ(牝3、安藤勝己、美・畠山吉宏)
7-14 タガノエリザベート(牝3、小牧太、栗・松田博資)
7-15 アパパネ(牝3、蛯名正義、美・国枝栄)
8-16 クラックシード(牝3、吉田豊、美・鈴木康弘)
8-17 ワイルドラズベリー(牝3、池添謙一、栗・中尾秀正)
8-18 プリンセスメモリー(牝3、浜中俊、美・高橋義博)